

中東ヨルダンのごみ問題

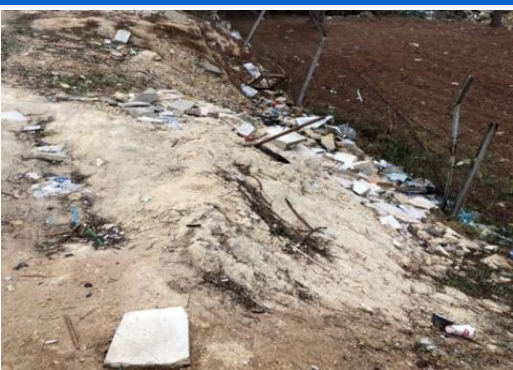
リサーチの背景

リサーチの背景として筆者の渡航体験が挙げられる。ヨルダンの首都アンマンで住みながら長期間異文化生活を経験した。その生活の中で日本と異なる廃棄物問題に目が留まった。本レポートでは、その経験を活かし、ヨルダンのごみ課題と現状を考察したい。

作成者: A. T.

レポートに関する
お問い合わせ:
03-5542-5300
info@sfinter.com

アンマンの廃棄物の実情



▶ 首都アンマンのごみ



▶ 首都アンマンに8千台設置されている
コンテナダストボックス

(画像:筆者撮影 2018年)

ヨルダンとはどんな国？

ヨルダン-Jordanとは中東に位置し、周辺諸国をシリア、サウジアラビア等の国々に囲まれている。国土は日本の約1/4であり、その内80%は砂漠と土漠、荒野である。隣国のシリア紛争によって生じた難民が流入し、国内人口は急激に増加しており2018年には995.6万人に達した。また、映画「インディージョーンズ」の舞台であるペトラ遺跡や塩湖の死海などの観光地があり多くの外国人が訪れている。

ごみ環境の実態を見る

ヨルダンではコンテナのダストボックスに家庭、お店に限らず可燃・不燃物を分別無しで廃棄している。中には日本で言う粗大ゴミも見受けられた。しかしコンテナがあるにも関わらず、ゴミを道路に捨てる人がいる。なぜ道にごみを捨てるのかと現地の人に聞くと「ごみを出しても清掃人が片づけるので問題ない」との回答が多い。夏にはこの道路脇に捨てられたごみから自然発火が頻繁に発生している。

増え続ける埋立地

ヨルダンではごみ処理の方法は埋め立てである。その為、人口増加に伴う無分別のゴミ増加が問題だ。事実、既存の埋立地は飽和し、新たに埋立地を建設している。日本の約1/4の広さしかないヨルダンではこのままゴミ増加が加速すれば土地は埋立地により減少していく一方ではないか。将来想定される状況回避の為にゴミの減量化が課題だ。

当事者意識改革から始まるごみ減量化

ヨルダンはJICA(国際協力機構)から環境整備に関する支援を過去に3回受けている。ごみ減量化に必要なインフラ設備やごみに関する環境教育支援だ。インフラ整備により技術的にごみ減量化を進めると共に、並行して重要なのは意識改革と考える。コンテナを設置しているにも関わらず使用しない人がいるように、インフラを正しく利用する為にも必要だからだ。筆者自身がヨルダンにまた何度も訪れたいと思うからこそ、土地が有限である事を認識し、当事者意識をもって環境保全して欲しいと思う。

ヨルダンと中東の地図



(出典: 一般社団法人日本大ダム会議 世界のダム/中東のダム)



(出典: 外務省HP ヨルダンの基礎情報)

JICAの支援事例

ヨルダンがJICA(国際協力機構)から受けた環境整備支援事例

- ① ヨルダン・ハシミテ王国大アンマン市環境衛生改善計画
- ② 大アンマン市環境衛生改善計画
アンマンの廃棄物処理を円滑にする為は無償資金協力を要請ごみ収集に必要なコンパクター車や中間処理施設で使用するブルドーザーの提供支援。
- ③ 北部シリア難民受け入れ地域廃棄物処理機材整備計画
シリア難民の増加に伴いごみを中間処理施設にて圧縮する機材の支援。ヨルダンの北部に住む人々約360万人の廃棄物収集環境が整備されるとされている。



(画像: 筆者撮影 2018年)

食品リサイクルでごみ減量化

ヨルダンにおける食品廃棄物のバイオマス発電によるリサイクル提案したい。バイオマスとは生ごみや家畜の排出物・廃油等生物由来の資源である。バイオマスを発酵で気体燃料のバイオガスに生成し、発電へ利用する。日本でも再生可能エネルギーの一部として近年注目する動きがある。実際に生ごみの約80-90%がバイオガス化することで食品廃棄物の減量化が可能になった事例がある。

参照・引用資料

- ▶ 外務省ウェブサイト ヨルダンの基礎情報 (<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/jordan/index.html>)
- ▶ 世界銀行2018年ヨルダン (<http://data.worldbank.org/data-catalog/world-development-indicators>)
- ▶ 「北部シリア難民受け入れ地域廃棄物処理機材整備計画」2018年 無償資金協力
- ▶ 「ヨルダン・ハシミテ王国大アンマン市環境衛生改善計画(フェーズ1)」1995年
- ▶ 「ヨルダン・ハシミテ王国大アンマン市環境衛生改善計画フェーズ2予備調査報告書」平成16年5月
- ▶ 「今日から物知りシリーズとことんやさしいバイオガスの本」澤山茂樹 日刊工業新聞社 2009年

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。

本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。株式会社サティスファクトリーは、本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。

また、本件に関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。